

## 平成28年度当初予算案概要

財 政 局

- 企業会計を含む全会計の合計は、震災以降5年連続で1兆円超の規模
- 一般会計は復旧・復興事業費が減少するも5千億円超の規模
- 復興に係る継続的な課題への対応を図りつつ、政策重点化方針2020に掲げる方針の実現に資する施策に予算を重点配分
- 各基金を活用し、税源涵養につながる中小企業の活性化や、公共施設の長寿命化による後年度負担の軽減など、中長期的な財政運営を見据えた取り組みも更に充実

## ■全体予算規模

	平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
一般会計	5,389億円	5,067億円	△322億円	94.0%
特別会計	3,388億円	3,314億円	△74億円	97.8%
企業会計	2,754億円	2,529億円	△225億円	91.8%
合計	1兆1,531億円	1兆910億円	△621億円	94.6%

※ 一般会計における復旧・復興事業費は280億円。

## ■主な重点政策

## ○ 東西線開業を契機とした都市の楽しさを創造するまちづくり

文化振興 10.6億円（仙台国際音楽コンクール開催、音楽ホール整備検討調査など）【P1】、ストック活用型都市再生推進 0.2億円【P53】、東西線フル活用プラン推進 3.2億円【P56～57】、西部地区観光振興 1.1億円【P72】、広域観光推進 0.6億円【P72】、インバウンド推進 0.8億円【P72】、G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催準備 0.8億円【P73】など

## ○ 社会のイノベーションを生み人口減少に挑むまちづくり

いじめ防止対策推進 2.5億円【P9】、学校支援地域本部 0.4億円【P12】、地域包括支援センター運営 10.9億円【P21】、障害者差別解消 0.1億円【P24】、すこやか子育てプラン推進 581.8億円（保育基盤等の整備、子どもの貧困対策など）【P27～29】、国家戦略特区 0.2億円【P66】、中小企業経営基盤強化 6.8億円【P66】、起業支援 0.4億円【P66】、中小企業人材確保・育成 0.7億円【P67】、農業収益向上推進 2.0億円【P75】など

## ○ 防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり

災害時情報発信システム整備 0.9億円【P35】、低炭素都市づくり推進 3.0億円（熱エネルギー有効活用等補助、LED照明等の導入推進など）【P48～49】、ごみ減量・リサイクル推進 37.4億円【P50～51】、ふるさとの杜再生プロジェクト【P85】、防災環境都市づくり推進 0.1億円【P89】、震災復興メモリアル事業 4.5億円【P89】など

## ○ 復興まちづくり

被災者生活再建支援 3.0億円【P82】、蒲生北部地区復興再整備 64.4億円【P83】、津波被災者再建支援金 8.2億円【P84】、農業生産基盤整備 3.4億円【P84】、東部復興道路整備 61.9億円【P86】、ヘリコプター活動拠点整備 21.2億円【P87】など

## ○ 都市経営の推進

新しい市民協働の仕組みづくり 0.3億円【P92】、公共施設総合マネジメント推進 1.1億円【P99】、債権管理の推進 0.1億円【P101】など

## ■平成 28 年度予算編成の状況

### 1 予算編成方針の骨子

平成 28 年度予算編成においては、震災復興に係る継続的な取り組みを引き続き推進するとともに、新たに策定する「政策重点化方針 2020」に基づき将来に向けたまちづくりに積極的に取り組む。一方で本市財政は、財政構造の硬直化が進行しており、財政の対応力を維持しながら、将来に向けて必要な取り組みを着実に実施していくため、短期的な対応にとどまらない、将来を見通した長期的な視点を持ちつつ予算の重点配分や歳入確保に取り組む。

### 2 予算見積・調整の状況

(1) 予算見積 (10～11 月)

(2) 予算調製 (11～12 月)

(3) 予算事務内示 (12 月)

(4) 復活要求や以下の要素による追加・修正の要求 (1 月)

- ・国の補正予算と新年度予算を踏まえた予算見積の追加・修正や年次調整

(5) 平成 27 年度補正予算編成と合わせた最終調整 (1 月)

< 一般会計予算における予算見積・最終調整の状況 >

	歳入	歳出	差引(収支差)
(1) 予算見積集計	4,699 億円	5,108 億円	△409 億円
(2)～(5) 予算編成過程における精査・調整等※	+124 億円	△41 億円	+165 億円
最終調整後(財源対策前)	4,823 億円	5,067 億円	△244 億円

※精査・調整等の概要

- ・財源の精査及び基金等の活用による歳入の確保
- ・事業工程の精査による平成 28 年度予算への付替え (歳入+20 億円、歳出+27 億円)、国補正予算を活用した平成 27 年度予算への前倒し計上 (歳入歳出ともに△1 億円)、経常経費の精査、事業の年次調整等による歳出の調整

### 3 財源対策の状況 ※一般会計における最終調整後の収支差 244 億円への対応状況

	収支差対応(歳入)
財政調整基金繰入	+229 億円
市債管理基金繰入	+15 億円
	+ 244 億円

### 4 一般会計当初予算額

	歳入	歳出
2 最終調整後 + 3 財源対策	5,067 億円	5,067 億円